

## 会 議 録

会議の名称	令和6年度 坂戸市男女共同参画審議会
開催日時	令和6年7月9日(火) 午後1時30分開会・午後3時20分閉会
開催場所	坂戸市勤労女性センター 新館会議室
議長(会長)	蓼沼 康子
出席者	中島 京子、足立 憲治、横瀬 元応、蓼沼 康子、小林 陽子、田村 明子、 明石 暢、小谷野 健史、清水 憲一、関口 久美子 10名出席
欠席者	河越 恵、宮島 登紀子、山田 ふみ 3名欠席
事務局職員	浅野総務部長 人権推進課 利根川課長、佐藤課長補佐、栗原係長
傍聴者数	0名
会議次第	1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 (1) 令和5年度第4次さかど男女共同参画プラン事業状況報告について (2) 令和6年度第4次さかど男女共同参画プラン事業計画について (3) その他 4 閉 会
配布資料	1 令和6年度坂戸市男女共同参画審議会次第 2 令和5年度第4次さかど男女共同参画プラン事業状況報告(資料1) 3 令和6年度第4次さかど男女共同参画プラン事業計画(資料2) 4 令和5年度男女共生社会促進事業の主な内容(人権推進課)(資料3) 5 第4次坂戸市男女共同参画基本計画(前期計画)数値目標進捗状況(資料4) 6 坂戸市パートナーシップ宣誓制度における埼玉県内自治体間連携及びファミリーシップ制度の実施について(資料5) 7 委員名簿 8 その他参考資料
議 事 の 経 過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	1 開 会 2 あいさつ
議長(会長)	3 議題 (1) 令和5年度第4次さかど男女共同参画プラン事業状況報告について
事務局	<資料1、3及び4により説明>

議長（会長）	「男女共同参画リーフレット」は高校には配布しないのか。
事務局	市内の小学校、中学校にのみ配っている。
委員	資料４の「審議会等における女性委員の割合」が昨年度と比較して下がってしまったということだが、40%を目指すための方策等考えているのか。
事務局	人権推進課より庁内各課に「審議会における女性の登用の推進について」と周知をし、積極的に女性を登用してもらうよう依頼している。ただ、毎年お知らせしているだけでは、なかなか女性委員の割合が伸びてこないといったこともあるので、今考えているのが、各担当課の方により意識を持っていただきたいという意味も含めて各部署にアンケートのような形で行い主管課の方で分析してもらい、女性が少ない審議会についてはなぜ女性委員の数が伸びないのか、また多く登用している審議会については「このような方法をとったらこのような結果になる」のか解析し、各審議会の所管課へより意識づけをさせていただくようにしたい。
議長（会長）	一番割合が少ない審議会はどんなところか。
事務局	一人も女性がいない審議会は４つある。「公の施設指定管理者選定委員会」「情報公開・個人情報保護審査会」「地域公共交通活性化協議会」「関間四丁目区画整理審議会」になる。
議長（会長）	今度アンケートをしてみれば、どういう傾向で坂戸市の審議会の男女の比率があるのか分析できれば、また違う形でアプローチできるのではないかと思う。やはり数は大事なので、概要を把握したうえで対策する必要があると思う。
委員	今聞いた４つの審議会は女性がいた方がいいなと思う。女性の視点から見る必要があると感じたのでぜひお願いしたい。
委員	避難所に女性職員を配置している割合が100%となっていて目標値は達成しているが、一人いればいいということではないので、次回以降、数値をだしてもらいたい。大きい避難所の場合、女性が一人しかいないとなるとどうなのかと。大きな地震の時に女性目線で対応できないかと。100%ということだけでなく次回から数値をもらえればと思う。
議長（会長）	どこの避難所も女性職員がいるということでしょうか。二人いる可能性もあるということか。
事務局	どこも女性職員はいて、二人以上の所もある。
委員	女性職員がいればいいのかということではなく、やはりいろいろと問題になっているので、数値で出してもらいたい。
議長（会長）	人権推進課ということで、DV相談にも力を入れていると思う。相談を始めて何年も経つが、相談内容に変化はあるか。
事務局	コロナで相談が増えたという報道があったが、坂戸市の場合、コロナの影響は特になかった。最近はグローバル化というか外国人の方の相談が増えていると実感している。相談に来て避難するケースもある。
議長（会長）	相談も多様化している。

	議題（１）令和５年度 さかど男女共同参画プラン実施状況報告については、資料のとおり承認することとしてよいか。
委員	（異議なし）
議長（会長）	議題 （２）令和６年度第４次さかど男女共同参画プラン事業計画について
事務局	<資料２により説明>
委員	主な取り組みNo. 45「男女のニーズに対応した防災体制の整備」で「備蓄品の整備」とある。令和元年の台風の時に避難所設営、運営をした際に備蓄品の活用がうまくできなかった。整備もいいのだが実際に活用するためのマニュアル等があるといい。
議長（会長）	学校が避難所になると先生方も大変になる。総務部長から防災安全課に伝えてもらうとよい。
委員	人権推進課が担当の取組は具体的に説明があるが、他の課が担当しているところが、例えばNo. 44「各自主防災組織に対して、女性の参画を積極的に依頼します」とあるが、何をどうなのかが全然見えてこない。人権推進課から言いにくい部分もあるだろうが、この計画を作る時にもう少し具体的に出してもらえるとよいのではと思う。
事務局	計画については、これからのことなので具体的に出すことは難しいと思うが、事業実績については数字とかもう少し内容を出すように、来年度報告の際には依頼文に添えたいと思う。
議長（会長）	計画の方にもやることを書いてもいいのではと思うがどうか。
委員	例えば「女性のニーズにこたえる」ということはどういうことなのかなど、全部は無理でも書いてあれば目標を達成したのかどうかわかりやすくなるのではないかな。できる範囲で。
事務局	備蓄品の関係については防災安全課に話をしたい。 計画についても事業報告にあるような形で、具体的なものができるべく書けるような形で、各関係課に依頼をしていきたい。
委員	今の所に関連するが、以前民生委員をやっていたが、避難所などで民生委員としてどういう活動をしたらいいかを地域の民生委員会で常に考えていた。防災安全課、福祉総務課など各関連の部署で具体案を出し合ってもらい、それぞれの立場でどういう活動ができるのか具体的にしてもらわないと、民生委員も学校と同じなので、ここに記述できるかどうかは別として具体的な活動を要望したいと思う。
議長（会長）	今の話は男女共同参画というより市全体に対する要望ということだが、災害というのはみんな慣れていない、そういうことも含めて総務部長よろしくお願ひしたい。
事務局	会長の言うように男女共同参画の範疇からは出ているかもしれないが、防災安全課、福祉総務課など所管課と防災計画に関して調整していきたい。

委員	No.. 25「ワークライフバランスの普及啓発」について巡回パネル展示をやっていたと思うが今年度やらなくなったのは目標が達成されたからか。 No.. 46「性と生殖に関する正しい理解の普及・啓発」についてのパネル展示はどのように行うのか。
事務局	市内施設の巡回パネル展示については毎年テーマを変えていて、昨年度は「ワークライフバランス」をテーマで実施した。特にアンケート等とはっていないが身近な施設で見ていただく、広く周知を図りたいということで行っている。今年度は「セクシャルハラスメント」を展示しているため、計画の方のNo.. 25には載せていない。 No.. 46「性と生殖に関する正しい理解の普及・啓発」の所について今回「リプロダクティブヘルス・ライツ」の展示を市民健康センターと一緒に中央図書館で10月に実施する。図書館は子どもも来るので、「小さいうちから自分の体は自分で守ろう」という周知・展示をする予定。
委員	昨年度と今年度で展示内容が変わったのは了解した。せっかくなので、巡回展示だけで終わらせず、どこかに展示することを考えてもいいのでは。
事務局	この展示パネルは埼玉県の「WithYou さいたま」が作成したものを印刷して展示している。女性センター館内でも月替わり展示を行っていて、現在展示しているので、ぜひ御覧いただきたい。
議長（会長）	展示したパネルのデータをホームページに掲載してみれば、例えば「何年度はこのような内容を展示しました」と掲載して「WithYou さいたまが作成したものです」とリンクを貼るなどすれば、女性センターがやったことが積み重なっていくし、「ワークライフバランス」などは人によって温度差がある。あまり知らない人もまだまだ多くいると思うので、いろいろ積み重ねていければいいと思う。
事務局	御意見を伺ったのでホームページに載せることについて WithYou さいたまに聞いてみたいと思う。
議長（会長）	他に何かあるか。 就職支援講座について、講座参加者に職業紹介はしていないのか。企業につなげるとか、ハローワークに紹介するとか。
事務局	企業紹介はしていないが、庁内にあるふるさとハローワークを紹介している。
議長（会長）	講座に来て、具体的に就職した人とかたくさんいるのか。データとか集めているか。
事務局	講座受講者には次の年の講座開催の時に就職したかどうか確認をしている。昨年受講者はまだわからないが、おととしの受講者については、あまり就職していなかったようだ。
議長（会長）	おととしは何人くらい受講したのか。
事務局	令和4年度の内容は「就職活動の基本、自己表現講座、ファイナンシャルプランナーによるお金の話」などで3日間実施したが、延べで10人、1日あたり3、

	4人だった。なかなか応募が無く、実施後のアンケートで「もっと具体的なものをやってもらいたい」ということで、昨年度はワード・エクセルとしたら、募集1日目でいっぱいになった。具体的な内容のほうがニーズとしてあると思ったので、今年度も引き続きやってみようと考えている。
議長（会長）	<p>家にいる女性たちが少しでも正社員になれるよう応援しないと労働力がなくなってしまうので、ぜひニーズにあわせて支援をしてほしい。またリスクリングということも含めて、家にいる人じゃなくても働いていても何かやりたいという人もいると思うのでよろしくお願ひしたい。</p> <p>女性が社会を支えるようなことを考えていきたい。</p> <p>他に何かあるか。</p> <p>このメンバーでの審議会は今回が最後なので、意見があればぜひ言ってもらいたい。</p>
委員	今年度行われた「片付け講座」について、自分が参加しているグループの人たちがとても関心を示した。行きたいと言っていたが、募集が「夫婦」ということだったので残念と言っていた。ところがあまり集まらなかったため、再度募集しなおしたと聞いた。若い男性を講座に出向けるような方法がないのかなあと感じた。グループ内ではとてもいい講座だと言っていたので、もう少しいい方法、アイデアはないのかなと思った。
議長（会長）	実際、集まらなかったのか。
事務局	最初は「夫婦」ということで年齢は問わず募集した。片付けについて男性は男性なりの、女性は女性なりの考えがあるということで、お互いの考え方の違いを知ろうということで「夫婦」で募集した。カードワークを通して普段なかなか言えないことも言ってもらおうという意図だったが、なかなか集まらなかった。最終的に「夫婦」では3組申し込みがあった。
議長（会長）	夫婦で申し込むのはなかなか難しいと思う。
委員	一緒には行かないが、夫に行かせたい。
議長（会長）	委員に聞いてもらったら意見もいろいろ出てくると思う。
委員	<p>他に何かあるか。</p> <p>No. 62について、昔は女性が介護することが多かった。今はずいぶん変わって男性も増えている。ただ、その場合、仕事をどうするかということが問題になっている。現実的に何か月も休みになって、これから考えなければということがある。今は男女がどうこうではなく、人として大変なところに来ている。「関係機関と連携を図り、情報提供等支援に努めます。」とあるが、困っている人がいるので、こういうことをやっている気づくようなチラシなどがあるといいなと思った。</p> <p>もう一つ、ヤングケアラーの問題だが、見えにくいことがとても多い。埼玉県は全国で初めてヤングケアラーの条例を作った。家庭の問題などでなかなか掘り起こせない、子どもだから自分がそういう立場にあることすらもわからない。学校でも教育をしていると聞いたが、なかなか家庭の問題なので言えない。た</p>

	<p>またまその子たちがチラシとか見たときに「ここに相談に行けばいいんだな」とわかるようなチラシとかあるといいなと思った。</p> <p>ちいさな声を拾うというのが男女共同参画も含めて大事かと思う。</p>
議長（会長）	<p>女性は今はだいぶ変わってきたがマイノリティ、弱者という経験をしている。弱者という表現をしているが、介護離職というのは損失になっているし、マイノリティの経験がある女性だからこそ気が付く経験もあると男女共同参画が社会に対して一石を投じる可能かもしれない。</p> <p>目をむけてあげなければいけないところと思っている。</p> <p>今のことに関して事務局から何かあるか。</p>
事務局	<p>担当課でないので学校でヤングケアラーのことにに関して配っているか不明であるが、学校と協力して把握しているとこども支援課では話をしている。年に何回かの会議でその子たちの支援の話をしたりしてやっていると聞いている。</p> <p>また、今、こども計画をたてている中のアンケートにもそのあたりを含めてやっているとこの話は聞いている。</p>
委員	<p>今回の議題に直接関わることではないが、先日テレビで埼玉県の公立高校の別学についてやっていた。私自身は何十年も前に福岡県の公立高校に勤めていたが、その時点で既に共学だった。女子がサポート役だけだったということはない。その後、埼玉に引っ越して来たが全部共学だと思っていたら別学なので、いろいろ調べたら北関東に集中している。男女共同参画という視点でも私立なら選択制ということであるが、公教育なのでぜひ埼玉県の公立高校の共学化を進めていただけたらいいんじゃないかなと思う。多感な思春期の時期に男女が協力し合って一つの学校行事を達成するという経験していかないと、大人になって急には難しいんじゃないかと思う。審議委員をやって、ちょっとそのことが気になった。そういうことがジェンダーギャップの問題であったり、選択制夫婦別姓の問題であったり。別姓認めていないのは日本だけと聞いている。公立高校の共学化というのを坂戸市の男女共同参画審議会としてもぜひ進めていただけたらいいんじゃないかと思っている。</p>
議長（会長）	<p>埼玉の公立高校の共学化は何度も話が出て繰り返されてきている。</p> <p>多くの人たちが望まないと変わらない。今回はそろそろ変わるのではないかと思うのだが。</p> <p>いろいろ御意見があったがそろそろまとめさせていただきたい。</p> <p>（２）令和6年度第4次さかど男女共同参画プラン事業状況報告については、資料のとおり承認することとしてよいか。</p>
委員	（異議なし）
議長（会長）	議題（３）「その他」について
事務局	「坂戸市パートナーシップ宣誓制度における埼玉県内自治体間連携及びファミリーシップ制度の実施について」＜資料5により説明＞
事務局	4 閉会